

令和3年1月18日

中井町長 杉山祐一様

中井町総合計画審議会
会長 諸坂佐利

第六次中井町総合計画後期基本計画について（答申）

令和2年10月19日付、2中企第28号をもって諮問のあった第六次中井町総合計画後期基本計画（案）について、当審議会において慎重に審議を重ねた結果、適正かつ妥当であると判断します。

なお、留意すべき事項として下記のとおり意見を付して答申します。

記

これまで、前期基本計画では、地方創生総合戦略のプロジェクトと連携を図り、各種事業が推進されてきましたが、中井町においては人口減少や少子高齢化が当初の予測よりも進んでいるのが現状です。

また、気候変動などによる大規模災害の頻発化・被害の甚大化、新型コロナウイルス感染症に起因した社会経済状況の変化などによる影響は、防災、医療、福祉、教育、都市基盤などのあらゆる分野に及んでいることに加え、ウイズコロナ、アフターコロナでは脱炭素社会への転換、行政のデジタル化などの取組も求められています。

こうした時代の変化や要請に適切に応えながら、第六次中井町総合計画における町の将来像である「一人ひとりが主役 魅力育む 里都まち♥なかい」を実現するために、特に次の事項に留意されることを要望します。

- 1 後期基本計画に掲げる「重点プラン」を中心とした各種施策への取組など、計画の推進にあたっては、町民の声を十分に聴きながら、町民一人ひとりと課題を共有し、町民目線をもって各種施策に取り組むとともに、新たに生じる課題についてもスピード感をもって柔軟に対応されたい。
- 2 活力があり快適で安心な持続可能なまちづくりのために、前期基本計画の取組で生み出された「里都まち交流拠点」や「里都まち♥なかいブランド」などを含めた中井町の地域資源や強みを活用するとともに、インターチェンジ周辺への新たな産業拠点の創生など、町民、地域と行政が一体となった未来志向でにぎわいを創生する持続可能な取組を加速され、町民が夢と希望として町政に関心が持てる地域社会を実現されたい。